

写真
を
き
く
。
詩
を
み
る
。

開催日時

2014年11月11日(火)

遠山衛

入場無料

17時 開場

17時30分 開演

新井高子

主催 東京造形大学 50周年記念事業委員会
東京造形大学デザイン学科写真専攻領域
ZOKEI PHOTO LAB 協力 CSLAB

三角みづ紀

会場
東京造形大学 CSLAB

JR 横浜線
相原駅よりスクールバス5分(徒歩15分)

東京造形大学
〒192-0992 東京都八王子市宇津貫町1556番地

写真と言葉 写真をきく。詩をみる。

開催日時 2014年11月11日(火) 17時 開場 17時30分 開演 入場無料
プログラム 第一部 朗読ステージ 第二部 写真と言葉シンポジウム

写真と詩は親密な関係にあり、写真において言葉は深く表現そのものに関わっているといえる。三人の詩人を迎え、朗読パフォーマンスと写真とのコラボレーションを通じ、写真の言葉(視覚言語)と詩の言葉との関連性を探り、写真表現の新たな可能性を追求する。

出演者(出演順)

遠山衛(とおやま・まもる)



1974年山梨県生まれ。朗読とパフォーマンス、舞踏、バンドとのコラボレーションによる詩の表現活動を展開。2006年、劇団民(Tami)を結成。脚本、演出を手掛ける。昨今では、一人芝居「the juice consultant」を発表。劇団所有の月江劇場にて定期公演を行っている。

共演:中橋純(ギター)

新井高子(あらい・たかこ)



群馬県桐生市生まれ。詩人、埼玉大学日本語教育センター准教授。第1詩集『詩集 霸王別姫』(緑鯨社、1997)。第2詩集『タマシイ・ダンス』(未知谷、2007)で第41回小熊秀雄賞受賞。新刊は、生家の織物工場で働く女たちから詩想を立ち上げた詩集『ベットと織機』(未知谷、2013)。英訳詩集に『Soul Dance』(ミテ・プレス、2008、ジェフリー・アングルス訳)など。編集人を務める詩誌『ミテ』(現在、128号を準備中)にて唐十郎戯曲の分析を連載。

共演:首藤幹夫(幻燈写真/東京造形大学特任教授)

<http://www.mi-te-press.net/>

三角みづ紀(みすみ・みづき)



1981年鹿児島生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に第42回現代詩手帖賞、第10回中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歷程新鋭賞受賞。朗読活動も精力的に行いスロヴェニア国際詩祭やリトアニア国際詩祭に招致される。第55回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館(代表作家・田中功起)におけるプロジェクト『a poem written by 5 poets at once』に参加や東京都現代美術館に詩の展示、視覚障害者と言葉のサインを作る等、美術としての詩制作も行う。2014年、第5詩集『隣人のいない部屋』にて萩原朔太郎賞を最年少受賞。あらゆる表現を現代詩として発信している。

<http://misumimizuki.com/>

お問合せ先

写真専攻メール shashin@zokei.ac.jp アクセス問合せ 042-637-8111(東京造形大学) 写真専攻ウェブサイト <http://photograph.zokei.ac.jp>

